



発行所 日本看護連盟
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
Tel 03-3407-3606 Fax 03-3407-3627
発行人 草間朋子

No. 380

2018年6月15日号



平成 30 年度通常総会・決起大会・国政報告会

平成 30 年度日本看護連盟通常総会が 6 月 5 日、ザ・プリンスパークタワー東京（東京都港区）で開かれ、本年度の事業計画等が承認されました。総会終了後には、次期参議院議員選挙に向けて決起大会が行われました。

<通常総会>

総会には、全国から約 1700 人が出席。議事では、昨年度の活動報告に続き、日本看護連盟規約と規約細則の改正、本年度のスローガンや事業計画など 7 議案が審議され、すべて原案どおり可決されました。

本年度の事業計画には、ブロック協議会の活動強化、突発的な事業や活動を支援するための「会長裁量経費」の新設、効果的な情報提供の在り方の検討などが盛り込まれました。また、規約・規約細則の改正により、都道府県会長会と中央役員会の役割の明確化などが図られ、現状に合った内容への変更が行われました。

役員改選では、金澤きみ代幹事が退任し、安東和代大分県看護連盟会長が幹事に選出されました。また、本年度は 6 名が新たに名誉会員となりました。

<決起大会>

総会終了後、たかがい恵美子参議院議員が国政報告を行いました。この中で塚田一郎参議院議員が登壇し、投票日を控えた新潟知事選挙への協力をお願いしました。

たかがい議員の国政報告の後、決起大会が行われました。参議院厚生労働委員会の審議のため、石田まさひろ組織代表候補予定者は出席できませんでしたが、ビデオメッセージで「この 1 年間で、全国 47 都道府県を回って現場の声をうかがい、あらためて皆様の思いを実現させなければという思いが募っています。これからも直接皆様と話す機会を増やし、お一人おひとりに私を知っていただけるように、精一杯頑張っ
てまいります。看護の未来を明るくし、看護の力で日本を元気にすることができるよう、皆様のお力をお貸しく下さい」と力強く語り、支援を訴えました。

伊吹文明衆議院議員、細田博之衆議院議員の応援演説の後、福井トシ子会長をはじめ日本看護協会幹部の皆さんが石田議員の応援歌を合唱しました。続いて大阪府看護連盟が天童よしみさんの「あんたの花道」に合わせて応援ソングを披露。青年部有志

も石田議員へエールを送りました。会員も、会場で配布された真っ赤なタオルを振りながら掛け声を掛け、一丸となって応援していく決意を確かめました。

<国政報告会>

決起大会終了後、同じ会場で、あべ俊子衆議院議員と木村弥生衆議院議員が国政報告会を開催しました。

あべ議員の報告会では、小野田紀美参議院議員の司会のもと、吉野正芳復興大臣、佐藤勉衆議院議員、棚橋泰文衆議院議員が挨拶されました。また、あべ俊子議員の国政報告の後、高橋ひな子衆議院議員も挨拶されました。

木村議員の報告会は、高橋恵海前江東区議会議員が司会し、前半は大林尚日本経済新聞論説委員が講演され、後半に木村議員が国政報告を行いました。



日本看護協会平成 30 年度通常総会

6月12日、パシフィコ横浜において、日本看護協会の平成30年度通常総会が開催され、約3500人の会員が一堂に会しました。物故会員への黙祷の後、神奈川県看護協会の花井恵子会長が歓迎の言葉を述べ、日本看護協会の福井トシ子会長が挨拶されました。来賓祝辞では、田畑裕明厚生労働大臣政務官、宮川典子文部科学大臣政務官、黒岩祐治神奈川県知事、荒木田百合横浜副市長が祝辞を述べられました。

会長表彰の後、名誉会員の選出、役員選挙と議事が進行。30年度の重点政策・重点事業として下記の4項目12事業が報告されました。

◎看護基礎教育制度の推進

- ・看護師基礎教育の4年制化の推進
- ・准看護師制度の課題解決に向けた取り組み

◎地域包括ケアにおける看護提供体制の構築

- ・在宅・施設等の看護の機能強化
- ・看護職員の需給対策
- ・看護管理者及び行政保健師の機能強化と連携の推進
- ・包括的な母子支援のための看護機能強化

◎看護職の働き方改革の推進

- ・勤務環境改善に向けた取り組み
- ・ナースセンター機能の強化

◎看護職の役割拡大の推進と人材育成

- ・認定看護制度の再構築
- ・特定行為に係る研修制度の活用の推進
- ・ナースプラクティショナー（仮称）制度の構築
- ・「看護師のクリニカルリーダー（日本看護協会版）」活用の推進

このニュースレターは、職場で看護政策や政治について考える時の資料になるよう、日本看護連盟が施設連絡員や代表者、役員等に対し特別に配布するものです。ミニ研修会や会議の資料等として積極的にご活用ください。